

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書（変更計画書）

2021年 7月 19日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

大阪府和泉市小田町一丁目8番1号

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

日本酪農協同株式会社

代表取締役 樋口 豊彦

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第20条第3項・~~第20条第4項~~
~~第22条第1項~~・~~第22条第2項~~において準用する
~~同条例第20条第4項~~）の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	日本酪農協同株式会社 代表取締役 樋口 豊彦
事業者の住所 （法人にあっては、主たる 事務所の所在地）	大阪府和泉市小田町一丁目8番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	日本酪農協同株式会社 滋賀工場				
事業所の所在地	大津市あかね町3番1号				
主たる事業	細分類番号	0	9	1	3 処理牛乳・乳飲料製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を 県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者				

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

1 計画期間

計 画 期 間	2021 年度 ~	2025 年度
---------	-----------	---------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち<日本酪農協同株式会社>はエネルギー管理方針を定めて、日本酪農協同株式会社における全事業所を対象とし、エネルギー管理規定及び管理標準に基づき運用をしています。

1. エネルギー管理体制

制定したエネルギー管理体制に基づき、運用管理を行います。

2. エネルギー削減目標

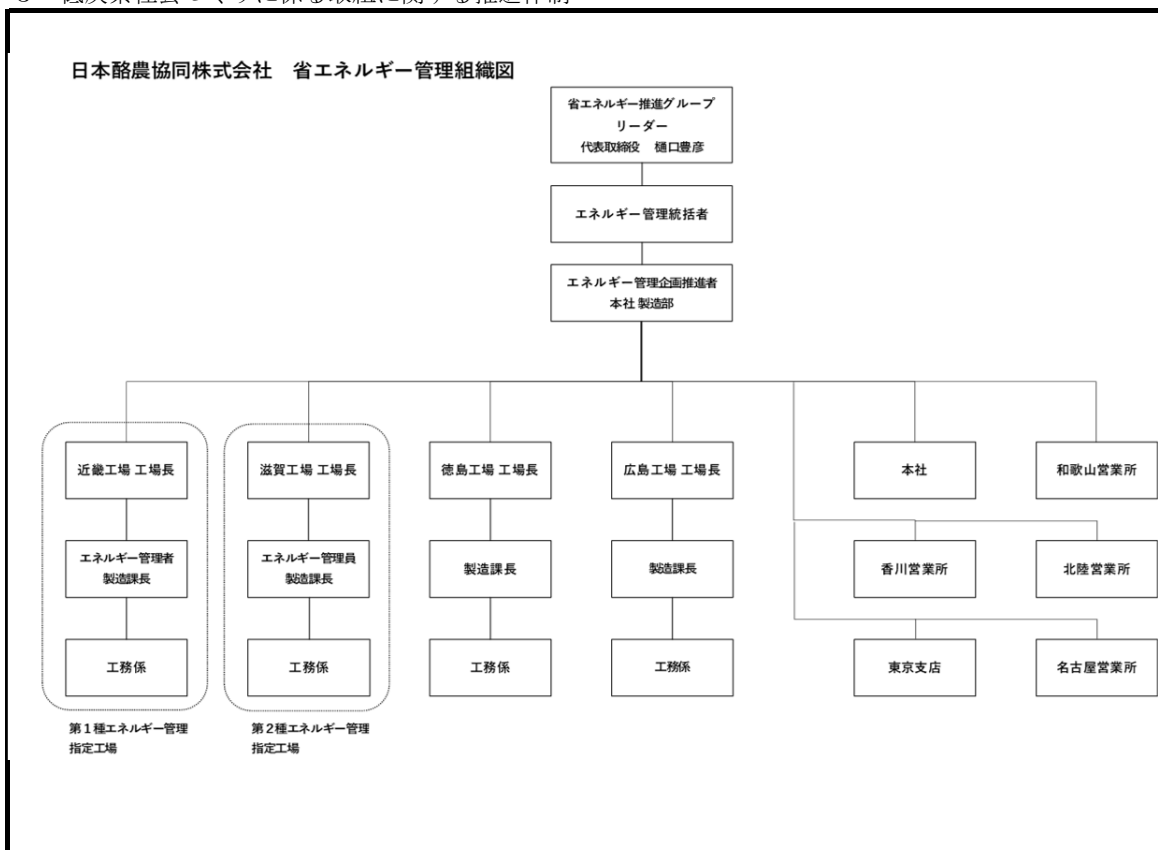
エネルギー削減目標は、前年度の1%削減を目標とします。

3. エネルギー削減施策

①工場・事業所における施設機器に対するエネルギー使用量の把握・使用量の検証を実施し、省エネルギー基準に満たない施設機器を更新します。

②工場・事業所における施設機器の的確な運用を行い、エネルギーの削減を実施します。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

- コージェネレーション設備の導入
- 蓄熱設備の冷水ポンプをインバーター制御し運転効率改善 6kL/年 削減
- 大型YGサージタンクライン空検知器設置によるロット切替時間短縮 2.7kL/年 削減
- 工場内水銀灯(400W)をLED(160W)に交換実施 14kL/年 削減
- 高効率コンプレッサー更新と台数制御設備導入 10kL/年 削減
- 高能力ミニ牛乳パック充填機導入による運転時間短縮 17kL/年 削減
- 高能力大型YG充填機導入による運転時間短縮 5kL/年 削減

- 待機時のコンベアストップ
- 昼休み時の消灯の徹底
- PC不使用時のスタンバイモードの徹底

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	工場棟・事務棟のLED化工事(6箇所検討) 全体で16.2kL/年 削減	2021～2025
2	設備導入対策	高効率インバーター制御式エアークンプレッサーへの更新(2基検討) 全体で9.9kL/年 削減	2021～2022
3	運転対策	エアークンプレッサー運転台数制御装置導入による省エネ計画	2021～2022
4	設備導入対策	ガソリン、軽油式フォークリフトをバッテリー車へ更新(4台検討) 全体で1.9kL/年 削減	2021～2025
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1	該当なし		
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

上記の取組等により、2020年度を基準とし、以下の数値目標の達成を目指します。

原単位「エネルギー使用量原油換算(KL)÷生産量(千t)」で毎年1%削減

なお、原単位の考え方は次の通りです。
エネルギー使用量原油換算は生産量に比例して増減するため、生産量を原単位の指標(分母)として設定しました。

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

該当なし

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実 施 スケジュール
1	該当なし		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			